

業績目録 (平成28年)

教室・部門名 外科学教室・内分泌・乳腺外科学

(A-a) 英文原著

- 1 Sakaguchi K, Nakatsukasa K, Taguchi T; Phase I Study of Triweekly Nab-Paclitaxel Combined with S-1 in Patients with HER2-negative Metastatic Breast Cancer. *Anticancer Res.* 2016 Dec;36(12):6515-6519. IF 1.572
- 2 Tanabe M, Iwase T, Okumura Y, Yoshida A, Masuda N, Nakatsukasa K, Shien T, Tanaka S, Komoike Y, Taguchi T, Arima N, Nishimura R, Inaji H, Ishitobi M; Local recurrence risk after previous salvage mastectomy. *European Journal of Surgical Oncology.* 2016 Jul;42(7):980-5. IF 2.940
- 3 Sowa Y, Numajiri T, Kawarazaki A, Sakaguchi K, Taguchi T, Nishino K. ;Preventive effects on seroma formation with use of the harmonic focus shears after breast reconstruction with the latissimus dorsi flap. *J Plast Surg Hand Surg.* 2016 May 5:1-5. IF 0.901
- 4 Sowa Y, Morihara T, Kushida R, Sakaguchi K, Taguchi T, Numajiri T. ; Long-term prospective assessment of shoulder function after breast reconstruction involving a latissimus dorsi muscle flap transfer and postoperative radiotherapy. *Breast Cancer.* 2016 Jul 5. [Epub ahead of print] IF 1.572
- 5 Yoshida A, Takahashi O, Okumura Y, Arima N, Nakatsukasa K, Tanabe M, Shien T, Masuda N, Tanaka S, Komoike Y, Taguchi T, Iwase T, Nishimura R, Inaji H, Yamauchi H, Ishitobi M ; Prognosis after mastectomy versus repeat lumpectomy in patients with ipsilateral breast cancer recurrence: A propensity score analysis. *European Journal of Surgical Oncology.* 2016 Apr;42(4):474-80. IF 2.940
- 6 Nakatsukasa K, Koyama H, Oouchi Y, Imanishi S, Mizuta N, Sakaguchi K, Fujita Y, Imai A, Okamoto A, Hamaoka A, Soushi M, Fujiwara I, Kotani T, Matsuda T, Fukuda K, Morita M, Kawakami S, Kadotani Y, Eiichi K, Yanagisawa A, Goto M, Yamada K, Taguchi T. ; Docetaxel, cyclophosphamide, and trastuzumab as neoadjuvant chemotherapy for HER2-positive primary breast cancer. *Breast Cancer.* Publied

online, 13 February 2016 IF 1.572

- 7 Nakatsukasa K, Koyama H, Oouchi Y, Imanishi S, Mizuta N, Sakaguchi K, Fujita Y, Fujiwara I, Kotani T, Matsuda T, Fukuda K, Morita M, Kawakami S, Kadotani Y, Konishi E, Yanagisawa A, Taguchi T. ; Docetaxel and cyclophosphamide as neoadjuvant chemotherapy in HER2-negative primary breast cancer. Breast Cancer. Published online, 11 January 2016 IF 1.572

和文原著

1. 濱岡亜紗子, 松田高幸, 小西英一, 田口哲也 肝転移を有する Luminal-HER2 進行乳癌に対して Pertuzumab+Trastuzumab+Docetaxel が著明に奏効した 1 例. 癌と化学療法 43(9):1097-1100, 2016.
2. 阪口晃一, 江口ひろみ, 田口哲也. 乳がん検診啓発活動としてのピンクリボン京都 10 年のあゆみ. 日本乳癌検診学会雑誌 25(3): 383, 2016
3. 岡本明子, 上野博司, 山代亜紀子, 岡田恵, 仲宗根ありさ, 波多野貴彦, 原田秋穂, 谷口彩乃, 大西佳子, 権哲, 深澤圭太, 田口哲也, 天谷文昌, 細川豊史. 乳癌末期における緩和ケアとしての酢酸メドロキシプロゲステロンの可能性について-2 例の経験からの考察-. 癌と化学療法 43(3):345-348, 2016

(B) 和文総説

1. 田口哲也 変遷する乳がん診療の最前線. 臨床と研究 93(6): 778-788, 2016

(C) 学会発表

I) 特別講演、教育講演等

- 1 田口哲也 特別講演司会 バイオマーカーに基づいた治療戦略. 第 17 回 乳癌最新情報カンファレンス 2016 年 8 月 26~27 ; 岡山
- 2 中務克彦 特別講演 最新の乳癌の診断と治療について (遺伝性乳癌・Bone Health も含めて) . 第 26 回乙訓医学会 2016 年 11 月 5 日 ; 京都

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 田口哲也 演者 乳癌における Bone Health. ランチョンセミナー7 第24回日本乳癌学会学術総会 2016年6月16日；東京
- 2 阪口晃一、井口英理佳、西田真衣子、大西美重、荘子万理、森田翠、大内佳美、中務克彦、田口哲也 5-ALA を用いた新しいセンチネルリンパ節・乳腺切除断端診断法の開発. 第24回日本乳癌学会学術総会 2016年6月16～17日；東京
- 3 中務克彦、井口英理佳、西田真衣子、大西美重、荘子万理、阪口晃一、田口哲也 HER2 陰性再発乳癌に対する Eribulin と Paclitaxel+Bevaciumab の次化学療法への影響の比較. 第24回日本乳癌学会学術総会 2016年6月16～17日；東京
- 4 岡本明子、田口哲也 乳癌手術における遷延性術後疼痛の頻度と術式との関係. 第24回日本乳癌学会学術総会 2016年6月16～17日；東京
- 5 大内佳美、小西英一、中務克彦、阪口晃一、田口哲也 手術検体で浸潤性小葉がんと診断された症例のうち、術前生検では他の組織型と診断された症例の病理所見検討. 第24回日本乳癌学会学術総会 2016年6月16～17日；東京
- 6 荘子万理、井口英理佳、西田真衣子、大西美重、森田翠、大内佳美、中務克彦、阪口晃一、田口哲也 当院におけるホルモン陽性進行、再発乳癌に対するフルベストラントの使用経験. 第24回日本乳癌学会学術総会 2016年6月16～17日；東京
- 7 大西美重、井口英理佳、西田真衣子、荘子万理、森田翠、大内佳美、中務克彦、阪口晃一、山崎早苗、小西英一、田口哲也 マンモトーム生検検体におけるリンパ管侵襲とセンチネルリンパ節転移との相関関係. 第24回日本乳癌学会学術総会 2016年6月16～17日；東京
- 8 井口英理佳、西田真衣子、大西美重、荘子万理、中務克彦、阪口晃一、田口哲也 進行再発乳癌に対する Bevacizumab+Paclitaxel の併用療法の検討. 第24回日本乳癌学会学術総会 2016年6月16～17日；東京
- 9 阪口晃一、大内佳美、大橋まひろ、中務克彦、田口哲也 HER2 陰性進行再発乳癌に対する nab-PTX+TS 併用化学療法 phase I study. 第17回乳癌最新情報カンファランス 2016年8月26～27；岡山

- 10 中務克彦、大内佳美、大橋まひろ、阪口晃一、田口哲也 原発性乳癌に対する術前化学療法 (TC 療法、HER-TC 療法)、phase II study. 第 17 回乳癌最新情報カンファランス 2016 年 8 月 26~27 ; 岡山
- 11 櫻町綾奈、中務克彦、川崎澄、河村雪乃、渡邊陽、井口英理佳、西田真衣子、荘子万理、阪口晃一、田口哲也 当院における乳房同時再建の術式断端陽性率の検討. 第 4 回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会 2016 年 10 月 6 日
- 12 阪口晃一^{1,2}、江口ひろみ^{2,3}、田口哲也^{1,2} 乳がん検診啓発活動としてのピンクリボン京都 10 年のあゆみ. 第 26 回日本乳癌検診学会学術総会 2016 年 11 月 4 日 ; 久留米 京都府立医科大学大学院内分泌・乳腺外科学¹、ピンクリボン京都実行委員会², NPO 法人 Re-vid³
- 13 座長 : 中務克彦 一般演題 (生検診断) 14 回日本乳癌学会近畿地方会 2016 年 12 月 3 日 ; 大阪
- 14 西田真衣子、田口哲也、阪口晃一、中務克彦、荘子万理、櫻町綾奈、井口英理佳、河村雪乃、川崎澄、渡邊陽 エチニルエストラジオールが奏功したホルモン陽性進行再発乳癌の 1 例. 第 14 回日本乳癌学会近畿地方会 2016 年 12 月 3 日 ; 大阪
- 15 河村雪乃、中務克彦、川崎澄、渡邊陽、井口英理佳、西田麻衣子、櫻町綾奈、荘子万理、阪口晃一、田口哲也 乳癌術後 8 年目に頸骨遠位端に孤立性骨転移を認めた一例. 第 14 回日本乳癌学会近畿地方会 2016 年 12 月 3 日 ; 大阪
- 16 渡邊陽、中務克彦、川崎澄、河村雪乃、井口英理佳、西田麻衣子、櫻町綾奈、荘子万理、阪口晃一、田口哲也 【画像所見と手術病理組織所見で病変の広がり乖離を認めた一症例】第 14 回日本乳癌学会近畿地方会 2016 年 12 月 3 日 ; 大阪
- 17 川崎澄、阪口晃一、渡邊陽、河村雪乃、井口英理佳、西田麻衣子、櫻町綾奈、荘子万理、中務克彦、田口哲也 検診で発見された管状癌の一例. 第 14 回日本乳癌学会近畿地方会 2016 年 12 月 3 日 ; 大阪

Ⅲ) 国際学会における一般発表

- 1 Katsuhiko Nakatsukasa, Kouichi Sakaguchi, Tetsuya Taguchi;
Phase I trial of Nab-paclitaxel/TS-1 combination therapy for
advanced /recurrent breast cancer 2016 ASCO annual Meeting, June
3-7, 2016 Abstract Publication Only
- 2 Kouichi Sakaguchi Phase I study of triweekly nab-paclitaxel and
S-1 HER2 negative metastatic breast cancer . 40th World Congress
of the International College of Surgeons 第40回国際外科学会世界
総会 京都国際会議場 平成28年10月24日
- 3 Katsuhiko Nakatsukasa, Kouichi Sakaguchi, Tetsuya Taguchi
Docetaxel, cyclophosphamide and trastuzumab as neoadjuvant
chemotherapy for HER2-positive primary breast cancer
40th World Congress of the International College of Surgeons 第
40回国際外科学会世界総会 京都国際会議場
平成28年10月24日

(D) 研究助成（競争的研究助成金）

総額 437万円

公的助成

代表（総額）・小計 390万円

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C） 平成26～28年度
化学療法による皮膚障害に対する高濃度水素水の有用性に関する研究
助成金額 390万円

分担・小計 47万円

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C） 平成27～29年度
5-ALAによる新しいセンチネルリンパ節転移・断端診断法の開発
助成金額 10万円
- 2 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C） 平成26～28年度
内分泌療法耐性乳癌におけるエストロゲン付加および枯渇療法の治療効
果予測因子の検索
助成金額 37万円

民間等助成

- 1 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター受託研究費
エストロゲンレセプター陽性再発乳癌を対象としたエベロリムス使用症
例における口内炎予防のための歯科介入無作為化第Ⅲ相試験
助成金額 572,400 円